

[標準様式例 7-3]

### 随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	平成30年度施工合理化調査解析業務
業 務 概 要	本業務は土木工事標準歩掛の改定を行う工種について施工合理化調査により得られた調査データを基に、歩掛を構成する各項目に集計及び詳細解析を行い、歩掛改定を行うための資料を作成する。また、施工合理化調査表等の作成を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 泊 宏 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	平成30年 4月11日
契 約 業 者 名	一般社団法人 日本建設機械施工協会
契 約 業 者 の 住 所	東京都港区芝公園三丁目5番8号
契 約 金 額	¥29,808,000円 (税込み)
予 定 価 格	¥29,862,000円 (税込み)
随意契約によることとした理由	<p>本業務は土木工事標準歩掛の改定を行う工種について施工合理化調査により得られた調査データを基に、歩掛を構成する各項目に集計及び詳細解析を行い、歩掛改定を行うための資料を作成するものである。</p> <p>本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、技術力、経験、業務に臨む体制などを含めた技術提案を求め、簡易公募型に準じたプロポーザル方式(拡大型)により選定を行った。</p> <p>一般社団法人日本建設機械施工協会は、技術提案書をふまえ当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。</p>
業 務 場 所	関東地方整備局
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 ( 自 )	平成30年 4月12日
履 行 期 間 ( 至 )	平成31年 3月22日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。